

計画推進部会（シミュレーション，モニタリング，データベース部会）
の合同シンポジウムについて

現研究計画では、「地殻活動の現状をモニターし，そのデータを地殻活動予測シミュレーションモデルに取り込むことで，大地震の発生に向けた地殻活動の推移予測を行う」ことが研究の目標になっている．

シミュレーション，モニタリングの研究を別々にやっているだけでは不十分．さらに，シミュレーションモデルのパラメータ推定や，モデルの妥当性の検証のためには，モニタリングで得られる現在のデータだけではなく，これまでに蓄積されたデータを活用する必要がある． → シミュレーション，モニタリング，データベースの連携を強化する必要がある．

連携強化に向けた議論の開始

○2005 年 1 月 14 日 「地殻活動モニタリングシステムの高度化」「地殻活動予測シミュレーションモデルの構築」「地殻活動情報総合データベースの開発」の 3 計画推進部会による合同会議

課題ごとに研究計画を紹介，自由討論

○2005 年 6 月 15-16 日 3 部会による合同研究集会

地震研究所研究集会「地殻活動データに基づく予測シミュレーションモデル構築に向けて」 研究代表者： 松浦充宏 地震研究所担当者： 鷹野澄

課題ごとの研究成果・計画の発表だけではなく，連携に関する構想，研究計画の発表も行う．